



6/1 こどもを尊重した施策、相次ぐマイナンバーカードの不具合などについて代表質疑しました。



食材料費を助成する補正予算の想定される効果と検証

食材料費高騰の影響を受ける高齢者・障がい者の福祉施設をはじめ保育所等および、給食センターや市立小中学校の単独調理校、配食サービス事業者、子ども食堂運営団体などに国の臨時交付金を活用し、食材料費を助成する補正予算案が示されたが、想定される効果とこれまでの検証について、あわせて公表状況および市民への周知について質しました。昨年度においても、支援策を実施し栄養バランス等を保った食事の提供の維持や、事業者の事業継続に寄与したものと認識しており、今年度にも実施する支援策についても、同様の効果が得られるものと考えている。国の臨時交付金を活用して実

施した事業については、実施状況や効果について、ホームページで公表することとなっているので事業終了後、速やかに取りまとめていきたいと答えました。

障害者差別解消条例の認知度

障害者差別解消条例の一部を改正する条例では、意思疎通のための手段に手話が加えられた点についての考えについて質し、市長記者会見のほか、各種主催イベントでの手話通訳の配置をはじめ、今回の条例改正の検討経過においても、多様な障害種別の方々に、協議会やヒアリングに参加いただけるよう、要約筆記や盲ろう者通訳などの情報保障を行ってきたとの答弁でした。

また市民アンケートでは障害者差別解消条例の認知度は低いという結果と

なっているが、条例改正を契機として認知度向上の契機とすべきと質問し、改めて条例や目指す趣旨等について周知啓発を行い、理解を深める取り組みを進めていくと答えました。

こども施策の推進

今年度から「こども若者局」と名称が改訂されたが、こども施策の推進について聞き、子どもや子育て家庭の様々なニーズに応える施策を推し進めるとともに、社会全体で子どもや子育てを応援する機運の醸成を図り、全庁を挙げて「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に向けて取り組んでいきたい。

さらに、子どもの権利条約では「子どもが自分の意見を言う権利」が定められているが、大人側に子どもの言わんとしていることを聴くアンテナを持つこと、子どもの意見を受けとめ一緒に考えることが重要だが、所見を聞き、子どもの意見を受けるとともに、条例を制定することにより想定される効果なども見極めつつ、子どもの思いを尊重した施策の推進に取り組んでいきたいと答えました。

その他、新たな学生フリーパス導入に係る財源確保、公共交通利用者育成の観点から若年層に対するファーストコンタクトおよび路線バス利用向上策、本市事業を担うNPOへの支援、談合防止への決意と情報提供の周知、子どもの第3の居場所への認識、相次ぐマイナンバーカードを巡るトラブルに係る受け止め、マイナンバーカードの申請主義の原則の徹底などについて質疑しました。



仙台市指定保存樹木である江戸時代から知られる、伊達政宗から拝領したと伝わる「子平町の大」。今年5月初旬に公開されました。

ひぐちのりこ 市議会ニュースレター あったかトーク

第45号 2023年夏号

ひぐちのりこ事務所
(青葉区版)
発行人 樋口 典子
1959年仙台市生まれ 管理栄養士 保育士 社民フォーラム市議団 幹事長
●都市整備建設常任委員会 委員長
●文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会 委員長
●議会運営委員

物価高騰対策助成などの議案を審査

2023年第2回定例会市議会は、5月25日から6月9日まで開かれ、一般会計補正予算など計27件の議案審査が行われました。

補正予算では、食材料費の高騰の影響を受ける福祉施設や保育所、子ども食堂運営団体、学校給食などを対象に、価格上昇額相当分を助成する額に約16億円、医療機関や畜産家、公共交通(バス・タクシー)等への物価高騰対策助成に約5.5億円、障害者差別解消条例の改正に対応して手話通訳者派遣助成、次世代放射光施設整備費補助金などに計1.9億円、計23億7,100万円が計上されました。

新たな学都フリーパス制度導入

市交通局の通学定期券「学都仙台市バス・地下鉄フリーパス」を令和6年中に、宮城交通のバスにも適用する新しい学生フリーパス制度を導入することになり、IC乗車券システム改修にかかる経費2億7,200万円を債務負担行為として設定することも提案されました。

条例関係では、「仙台市障害を理由とする差別をなくし障害のある人もない人も共にくらしやすいまちをつくる条例」(障害者差別解消条例)について、国

の法改正等を受け、また市民意見を反映し、障害者施策推進協議会の答申を受けての改正が提案されました。また、電動自動車等の普及拡大などを背景とした国の法改正を受けて、急速充電施設の範囲、位置、構造および管理の基準を改めるための「仙台市火災予防条例」の一部改正案なども提案されました。

科学館における地震体験シアター等の更新

その他の案件として、衛生研究所の移転改築工事、博物館の大規模改修工事の工事請負契約の締結に関する件、科学館に地震体験シアター等の展示物を更新するための財産の取得に関する件が提案されました。

また、給付費の過払いが生じた認定子ども園を運営する学校法人に対して返還の訴えを提起する件、松森工場および水道局の浄水場で使用する活性炭の調達に係る入札の際に設けが行われ、本市が被った損害の賠償を求めた訴訟につ

市議会ひぐちコラム

今期最後の議会、そして現仙台市議会の議事堂での最後の本会議でした。議事堂は58年前の1965年に完成しましたが、本庁舎建て替えに伴って先行して解体となります。現議事堂を経験した議員は300人を超えるそうです。

私が委員長を担った文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会では、調査や有識者からの講話等を通して、音楽を生かしたまちづくり等について論議を重ねました。市



今定例会で最後となる本会議場にて会派メンバーと。

いて和解が成立したための「和解に関する件」も提案されました。

また、緊急対応の必要性から3月31日付けで市長が専決処分した、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の中でとくに影響を受ける住民税非課税世帯に対して緊急支援給付金約43億4,400万円(1世帯3万円)、低所得の子育て世帯に対する生活支援特別給付金約11億9,100万円の「専決処分に関する件」も提案されました。市監査委員、固定資産評価員の人事案件も含め、全議案は可決成立しました。



民が主体のイベントが多数開催される環境を大切にし、市民がより音楽活動に関する情報にアクセスしやすくなる仕組みづくりと施設の利活用を図り、市民活動を後押しできるプラットフォームの形成につなげることなど報告しました。

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172
セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立ち寄り下さい!

ホームページ <http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐちブログ <http://nohiguchi.jugem.jp/>

twitter アカウント名 #nohiguchi

facebook ページ <http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172

ひぐちのりこ 東奔西走!

2/24 貝ヶ森児童館仮移転先について申し入れ

貝ヶ森市民センターの大規模改修が今年の11月頃から始まるのに伴い、併設の児童館の仮移転先について、当初仙台市では、国見小学校の校庭等の利用を想定していました。しかし空き教室がなく、校庭は狭小であることから学校内への移転は難しい状況でした。そこで、各町内会および児童館利用の保護者の意向として、児童の安全安心のためにも隣接する貝ヶ森中央公園がふさわしいと仙台市に対する要望書を2月24日に提出しました。その後、公園の利用に関して庁内で検討・調整が行われ、希望通り貝ヶ森中央公園となりました。仮移転の期間は今年秋から約1年間となる予定です。



↑町内会の意向として要望書を提出。
*貝ヶ森児童館の仮移転先となる貝ヶ森中央公園。

4/1 新川地区地域交通「ハツ森号」出発式

青葉区新川(にっかわ)地区の地域交通「ハツ森(やつもり)号」が本格運行の開始となる出発式が行われました。

新川地区の交通の課題の解決の一つとして、2020年2月に地域の4町内会を母体とした「新川地区地域交通運営検討会」が発足し、地域の方々やタクシー事業者などが時間をかけて取り組んできたもので、作並方面から夔子方面をカバーしています。平日には1日14便が運行予定です。誰でも乗ることができるハツ森号。地域の实情に合った買い物や通院など皆さんの足として大きく育つことを願っています。

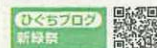


4/29 新緑祭に参加



第40回全国都市緑化仙台フェアのメイン会場内(青葉山公園追迫地区)で行われる「新緑祭」へ参加しました。緑を愛する心を育むとともに、緑豊かなまちづくりを進めることを目的として、1989年から開催されています。

緑化事業の推進に貢献された方や団体に対して感謝状の贈呈が行われたほか、緑の活動団体として、令和5年度に認定を受けた団体への認定証を交付などがありました。緑の推進を行っている各団体のブースをはじめ、花苗や苗木の販売、スタンプラリー抽選会などが行われ、多くの人たちが集まり、新緑を楽しんでいました。



折立5丁目 暮山 地域の要望等で改善されました

枯れ葉などが溜まった側溝の清掃がなされ、水路が改善されました。



皆さんの声を聴いて、市政へ!



5/18 宮城県青年女性反核平和の火リレーの自治体要請行動



平和友好祭宮城県実行委員会などの4団体が、毎年合同で行っている自治体要請行動に同行しました。

仙台市長あてに「女川原発再稼働の中止を県や国に求めること」「平和行政・平和教育の推進」「反核平和都市宣言、日本非核宣言自治体協議会への加盟の検討」「平和行政の諸施策実施のための予算の確保と平和運動への具体的な取り組み」「県内自治体を回る反核平和の火リレーへの協力」などの要請書を手渡しました。



5/29 「官製ワーキングプア」についての学習会

男女平等を進める活動をしている「NPO法人イコロールネット仙台」の学習会で、非常勤の地方公務員である「会計年度任用職員」についてお話をさせていただきました。2020年からはじまった会計年度任用職員制度ですが、その8割が女性。賃金も福利厚生も大きな差があります。現在、全自治体の職員のうち平均4割弱が会計年度任用職員となっており、5割を超える自治体も市町村を中心に全体の10%以上によっています。(仙台市は26.2%)

1995年に日経連(現経団連)が発表した「新時代の日本の経営」では三つの雇用の形が提言されました。全労働者の7割が「雇用柔軟型」と名付けられる契約社員や派遣ら非正規とされ、人件費を抑えるために活用する方向性が示されましたが、地方公務員も例外ではありませんでした。労働組合運動などで処遇改善がなされた事例についても話をいたしました。



ひぐちのりこ 主な活動日誌

4月10日	仙台市立国見小学校入学式 仙台商工会議所 顧問・参与懇談会	5月20日	国見学区体育振興会定期総会
4月11日	仙台市立第一中学校入学式	5月24日	全国都市緑化祭 文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会
4月21日	都市整備建設常任委員会	6月3日	仙台ハーフマラソン感謝の会
4月25日	文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会	6月5日	反核平和の火リレー出発式
4月26日	全国都市緑化フェア仙台フェア開会式	6月9日	仙台市議会本会議場 閉場セレモニー
5月3日	5.3憲法を活かす宮城県民集会	6月16日	議会ICT化推進検討会議
5月10日	仙台市給水事業開始100周年記念式典	6月18日	全国都市緑化フェア仙台フェア閉会式
●●● これからの主な予定 ●●●			
7月3日	市政施行134周年記念記念式 仙台市公文書館開館式	7月18日	都市整備建設常任委員会